

移動理由アンケート令和6年集計結果について

【移動理由アンケートとは】

- 移動理由アンケートは、令和3年3月から県内全21市町と連携し、転入・転出手続の際に、窓口で実施している県独自の調査
- 移動理由アンケートは、転入・転出の理由等を把握するものであり、これまで推測していた内容を客観的なデータで確認・分析が可能

【主な調査項目】

- 移動の理由：就職（再就職除く）、転勤、転職（再就職含む）、退職、進学、結婚 など10区分
- 移動先の勤め先業種：製造業（半導体関連、造船・航空機・自動車関連、その他）、情報通信業（ソフトウェア・情報処理関係、その他）、医療業（看護職員、看護職員以外）福祉業（介護関係、保育関係、その他）、その他サービス業（コールセンター含む）、農林水産業 など21区分
- 転出入の背景：希望する仕事（業種・職種）につきたい、生活環境（店舗や病院等）が充実した場所で暮らしたい、県や市町の支援制度が充実していた、など転入・転出ともに13区分
- 転出入の背景で「希望する仕事（業種・職種）につきたい」を選択した場合、転職・就職の決め手になったこと
- 長崎県出身か否か：長崎県が出身地か、県外が出身地か
- 県外への転出の場合、将来、長崎県に帰ってきたいかどうか。
- 県内に同じ条件の仕事や生活環境があれば転出したかどうか。
※アンダーラインは令和6年1月から新たに追加した項目及び選択肢（細分化含む）

【集計結果概要】

令和6年1月から12月の移動理由アンケートの集計者数は、転入で11,332人、転出で8,459人であり、住民票の移動者数に対する回答率は、転入で24%、転出で17%という結果となった。

区分		移動実数 (A) ※長崎県異動人口調査から	アンケート集計者数 (B)	回答率 (B/A)
県外	転入	27,506	4,197	15%
	転出	30,145	4,454	15%
県内	転入	18,847	7,135	38%
	転出	18,900	4,005	21%
総数	転入	46,353	11,332	24%
	転出	49,045	8,459	17%

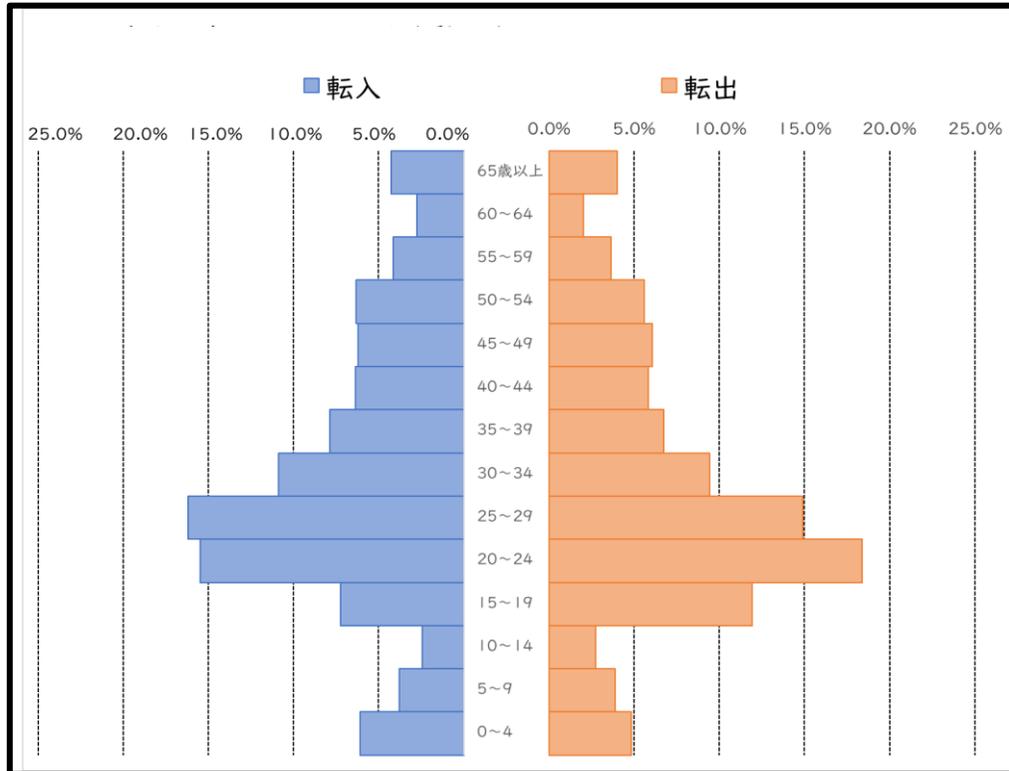
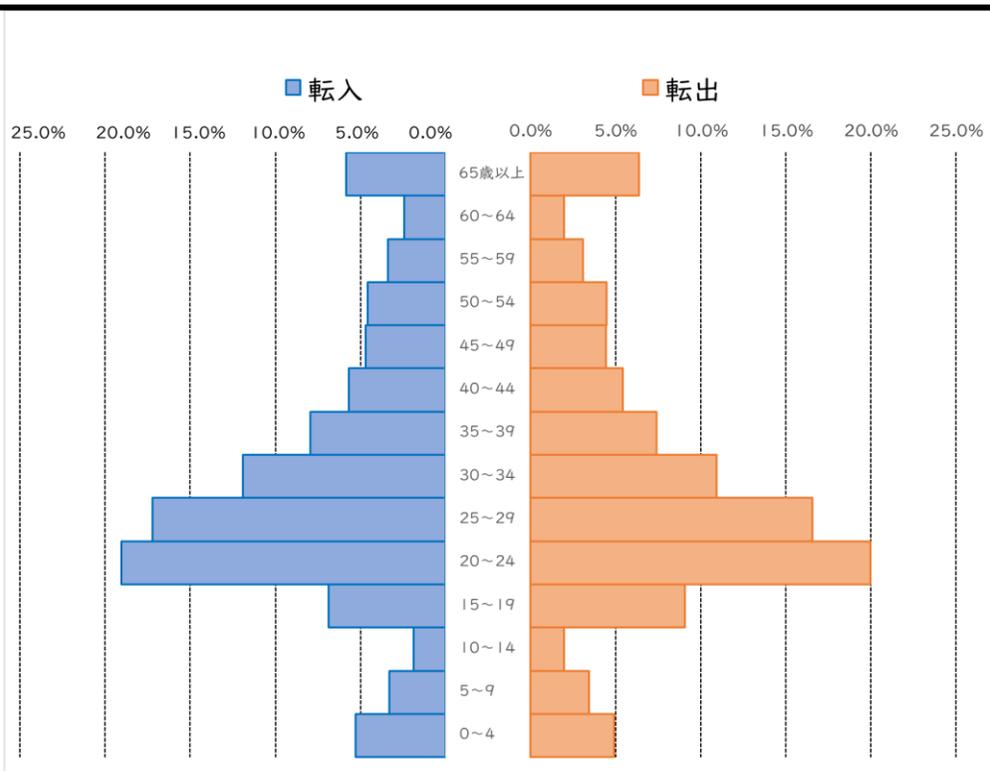
■ 集計結果 目次

0.	移動実数とアンケートの年齢別構成比較	・・・	3ページ
1.	移動理由別の県外移動者（男女別）	・・・	4ページ
2-1.	仕事（就職・転勤・転職）による県外移動者（年齢区分別、男女別） 転入	・・・	5ページ
2-2.	仕事（就職・転勤・転職）による県外移動者（年齢区分別、男女別） 転出	・・・	6ページ
3-1.	「就職」を理由とする県外からの転入者（業種別、男女別）	・・・	7ページ
3-2.	「就職」を理由とする県外への転出者（業種別、男女別）	・・・	8ページ
4-1.	移動理由（就職・転勤・転職・進学）、転出先地域別県外転出者（男女計）	・・・	9ページ
4-2.	移動理由（就職・転勤・転職・進学）、転出先地域別県外転出者（男女別）	・・・	10ページ
5-1.	就職の背景 ※複数選択 県外転入者（男女別）	・・・	11ページ
5-2.	転職の背景 ※複数選択 県外転入者（男女別）	・・・	12ページ
5-3.	就職の背景 ※複数選択 県外転出者（男女別）	・・・	13ページ
5-4.	転職の背景 ※複数選択 県外転出者（男女別）	・・・	14ページ
5-5.	県外転出者 長崎県内で同じ条件の仕事や生活環境があれば転出していたか（出身地別）	・・・	15ページ
6-1.	就職の決め手になったこと ※複数選択 県外転入者（男女別）	・・・	16ページ
6-2.	転職の決め手になったこと ※複数選択 県外転入者（男女別）	・・・	17ページ
6-3.	就職の決め手になったこと ※複数選択 県外転出者（男女別）	・・・	18ページ
6-4.	転職の決め手になったこと ※複数選択 県外転出者（男女別）	・・・	19ページ
7-1.	県外転出者の「県内企業を調べたか」の有無（就職・転職、男女計）	・・・	20ページ
7-2.	県外転出者の「県内企業を調べたか」の有無（就職・転職、男女別）	・・・	21ページ
8.	県外転出者の「長崎県に帰ってきたいか」（就職・転職、出身地別、男女別）	・・・	22ページ
9.	県外への転出者の長崎県内の居住年数（就職・転職、出身地別）	・・・	23ページ

0. 移動実数とアンケートの年齢別構成比較

長崎県異動人口

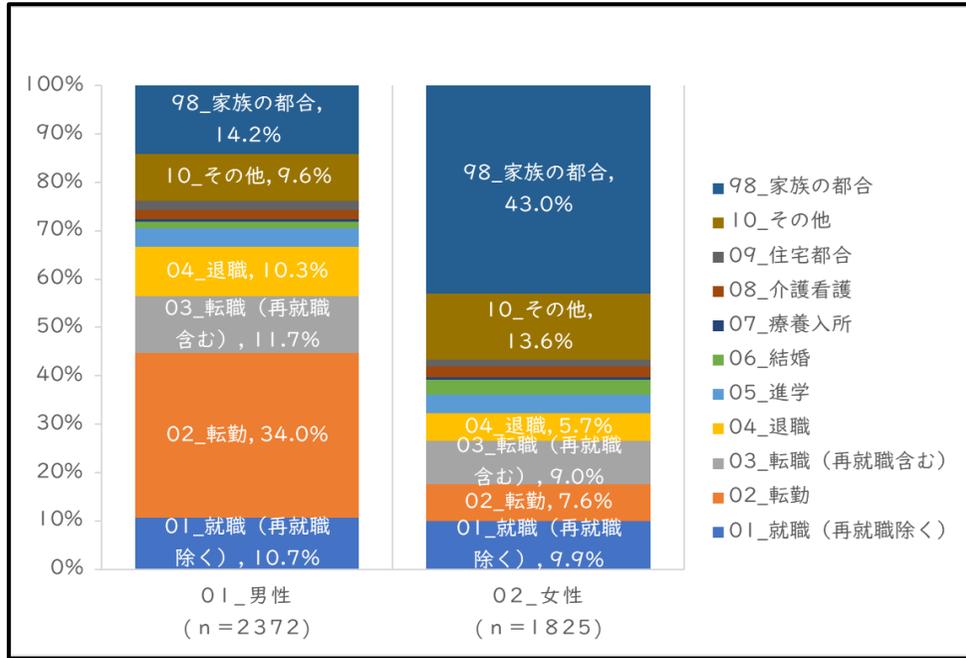
移動理由アンケート



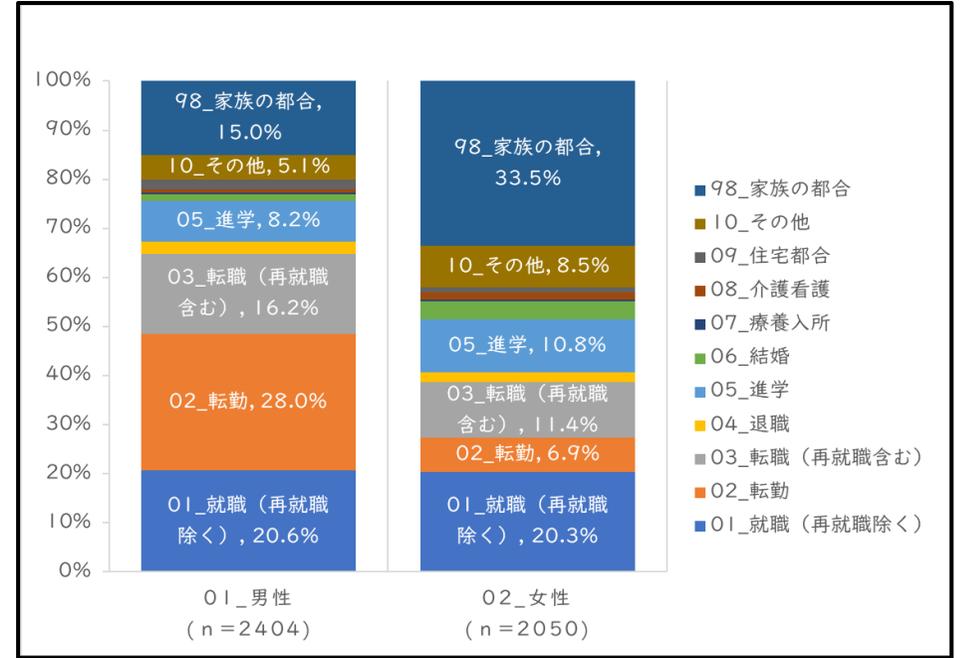
- 住民票の移動者実数（長崎県異動人口）と移動理由アンケートの集計者の年齢構成を転入・転出でそれぞれ比較した結果、全ての年齢区分において大きな偏りはなかった。

1. 移動理由別の県外移動者（男女別）

■ 転入



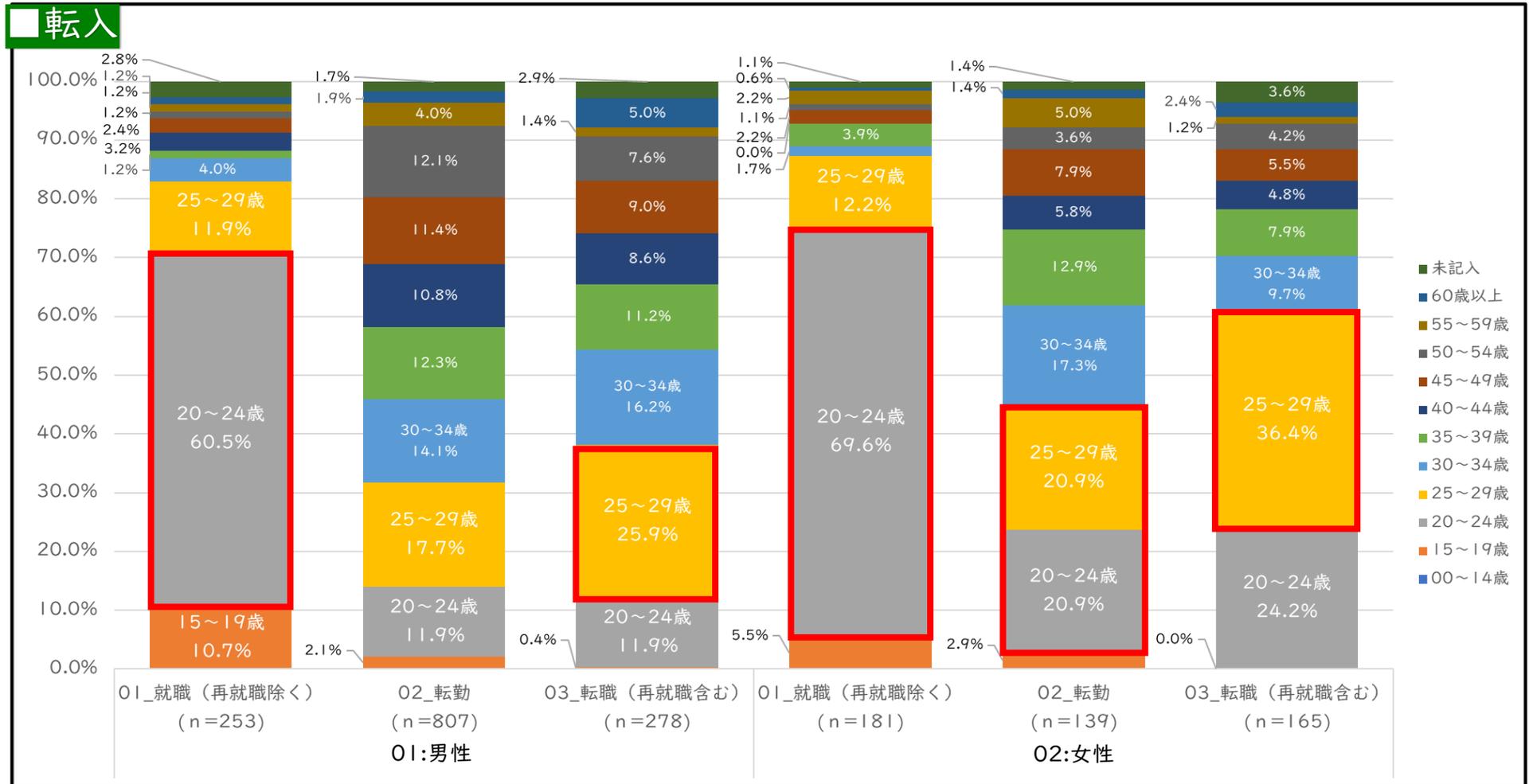
■ 転出



● 県外からの転入を男女別にみると、男性は「転勤」が最も多く、次いで「家族の都合」、「転職」の順、女性は「家族の都合」が最も多く、次いで「その他」、「就職」の順となっている。

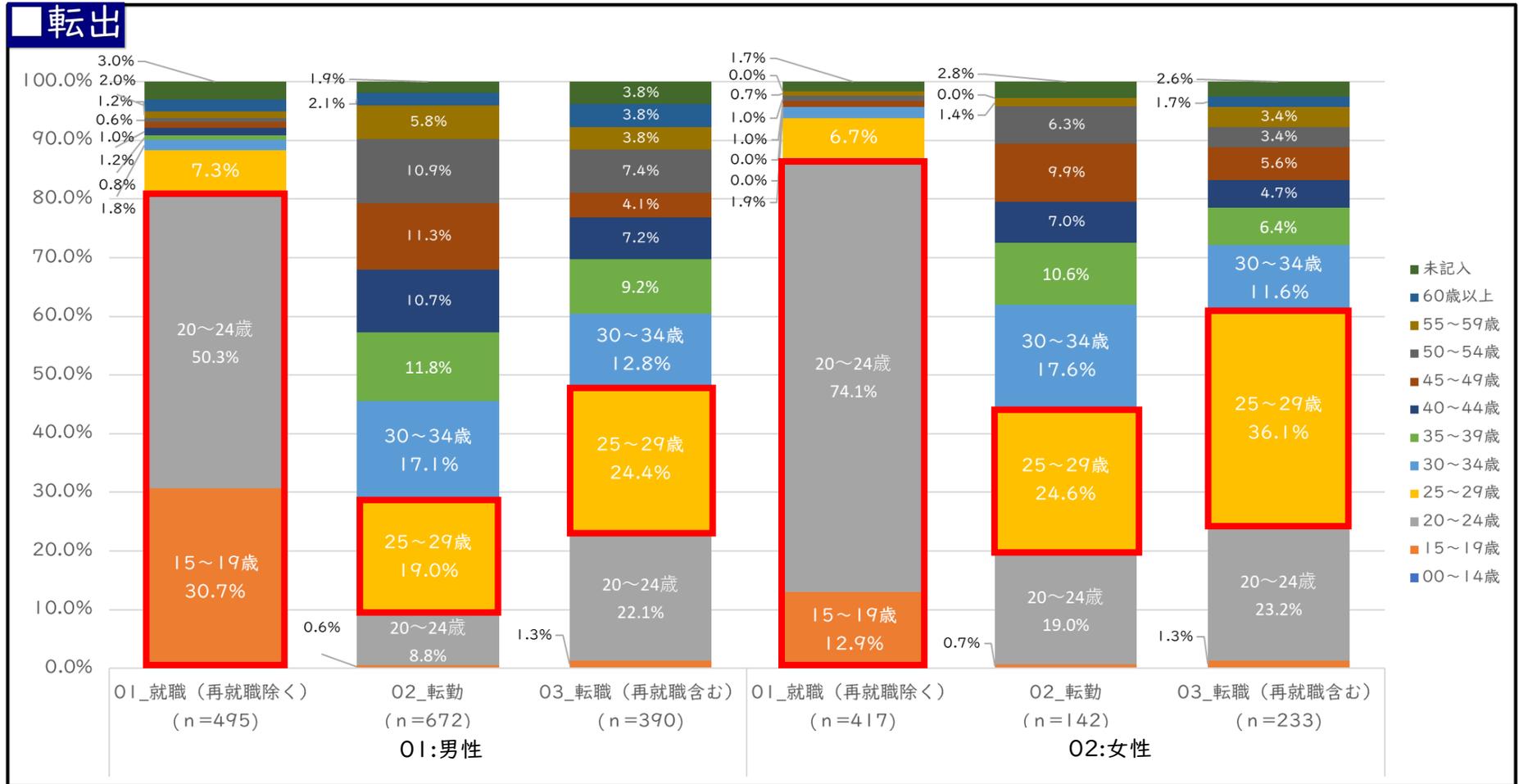
● 県外への転出を男女別にみると、男性は「転勤」が最も多く、次いで「就職」、「転職」の順となっており、女性は「家族の都合」が最も多く、次いで「就職」、「転職」の順となっている。

2-1. 仕事（就職・転勤・転職）による県外移動者 （年齢区分別、男女別） 転入



- 「就職」をみると、20~24歳の区分が男性は約6割、女性は約7割を占めている。
- 「転勤」をみると、男性は各年齢で一定の割合が存在している。女性は20~29歳が4割を占めている。
- 「転職」は男女とも25~29歳の区分で最も多く、次いで男性では30~34歳、女性は20~24歳となっている。

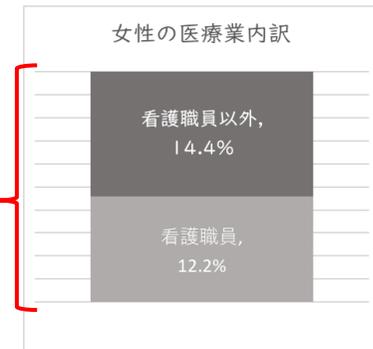
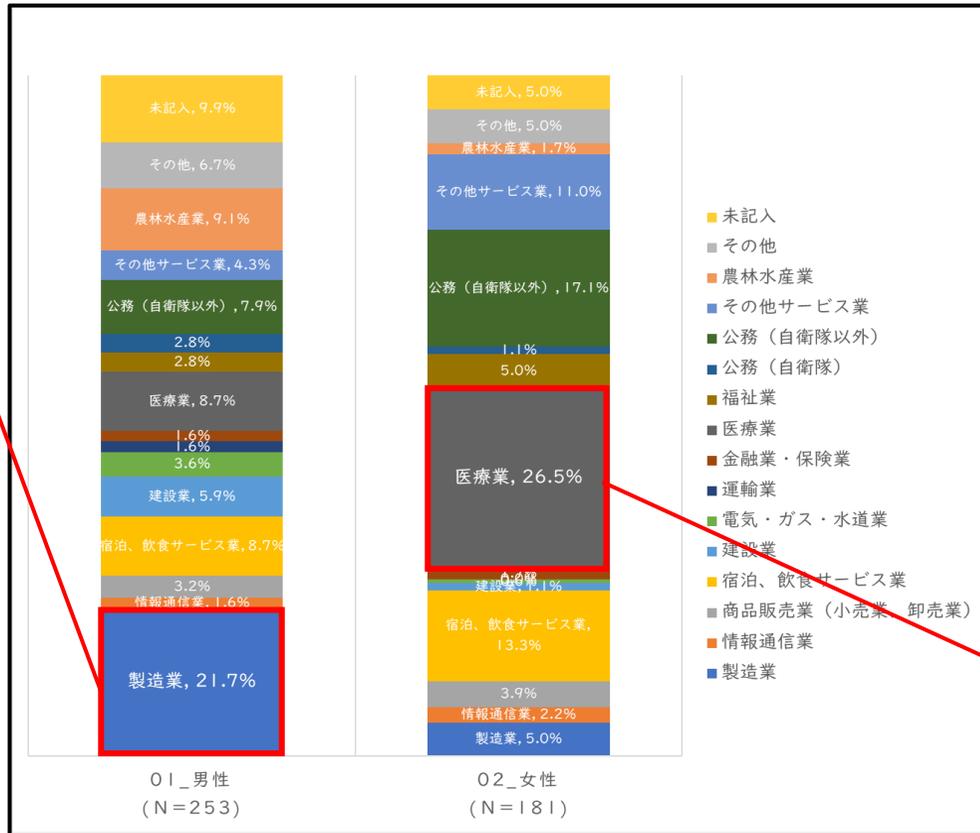
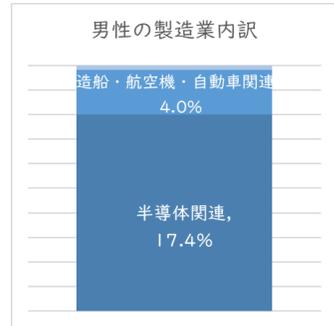
2-2. 仕事（就職・転勤・転職）による県外移動者 （年齢区分別、男女別） 転出



- 「就職」をみると、男性は20~24歳の区分で最も多く、次いで15~19歳の区分となっており、15~24歳の年齢区分が約8割を占めている。女性も、20~24歳の区分で最も多く、次いで15~19歳の区分となっており、15~24歳の年齢区分が約9割を占めている。
- 「転勤」をみると、各年齢で一定存在しているが、男女とも25~29歳の区分が多い。
- 「転職」をみると、男女とも25~29歳の区分が多い。

3-1. 「就職」を理由とする県外からの転入者（業種別、男女別）

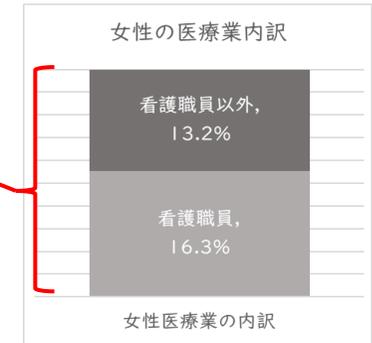
■ 転入



- 男性をみると、「製造業」が最も多く、次いで「農林水産業」、同率で「宿泊、飲食サービス業」「医療業」の順となっている。製造業の内訳は、半導体関連が最も多い。
- 女性は「医療業」が最も多く、次いで「公務（自衛隊以外）」、「宿泊、飲食サービス業」の順となっている。医療業の内訳は看護職員以外、看護職員がほぼ同程度となっている。

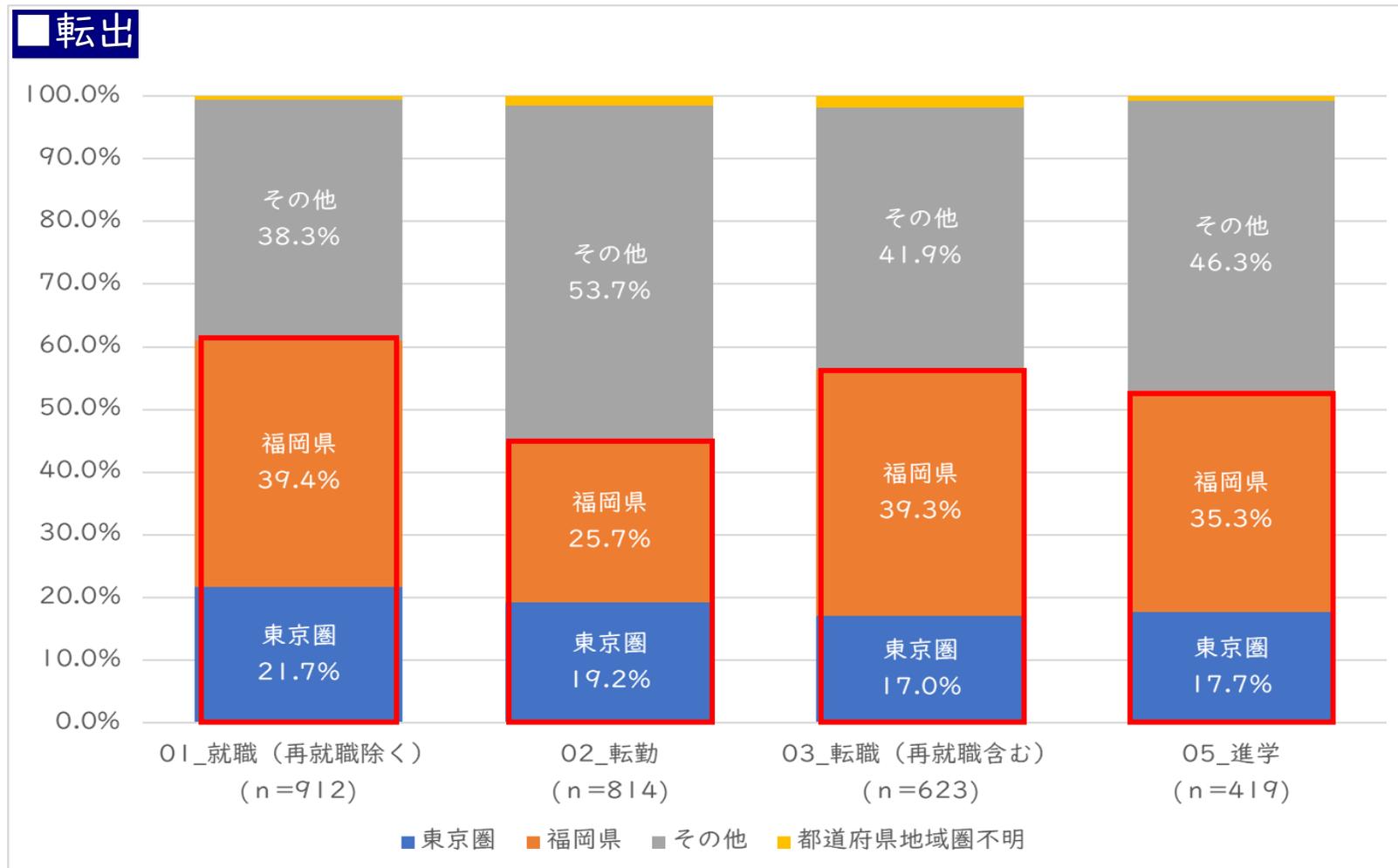
3-2. 「就職」を理由とする県外への転出者（業種別、男女別）

■ 転出



- 男性をみると、「製造業」が最も多く、次いで「情報通信業」、「医療業」の順となっている。製造業の内訳は、造船・航空機・自動車関連が最も多く、半導体関連、その他が同程度となっている。
- 女性は「医療業」が最も多く、次いで「その他サービス業」、「その他」の順となっている。医療業の内訳は看護職員、看護職員以外の順となっている。

4-1. 移動理由（就職・転勤・転職・進学）、 転出先地域別県外転出者（男女計）

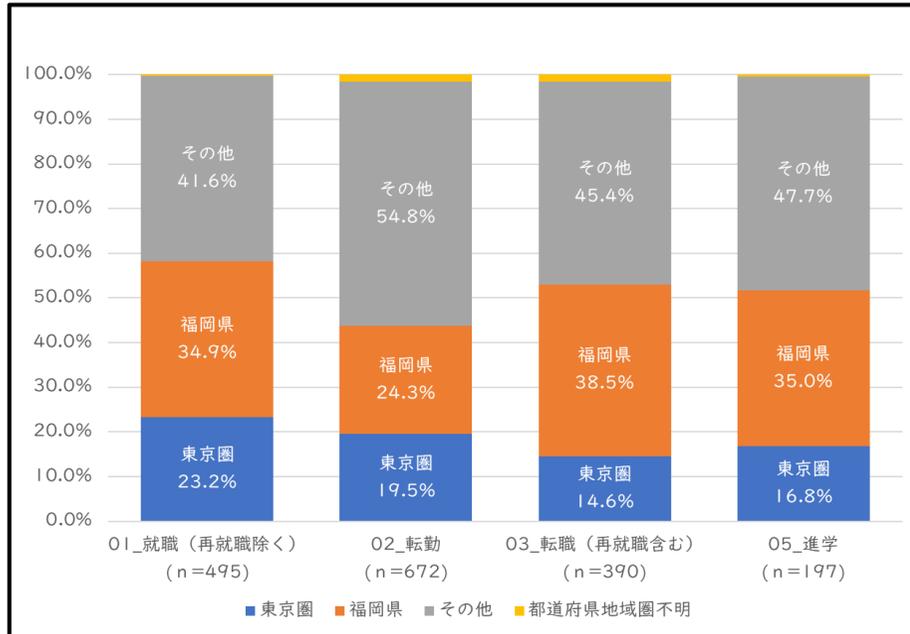


- 県外への転出について、転出先の地域をみると東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）及び福岡県を合算した割合は、就職、転勤、転職、進学いずれも4割強から6割程度と多くを占めている。

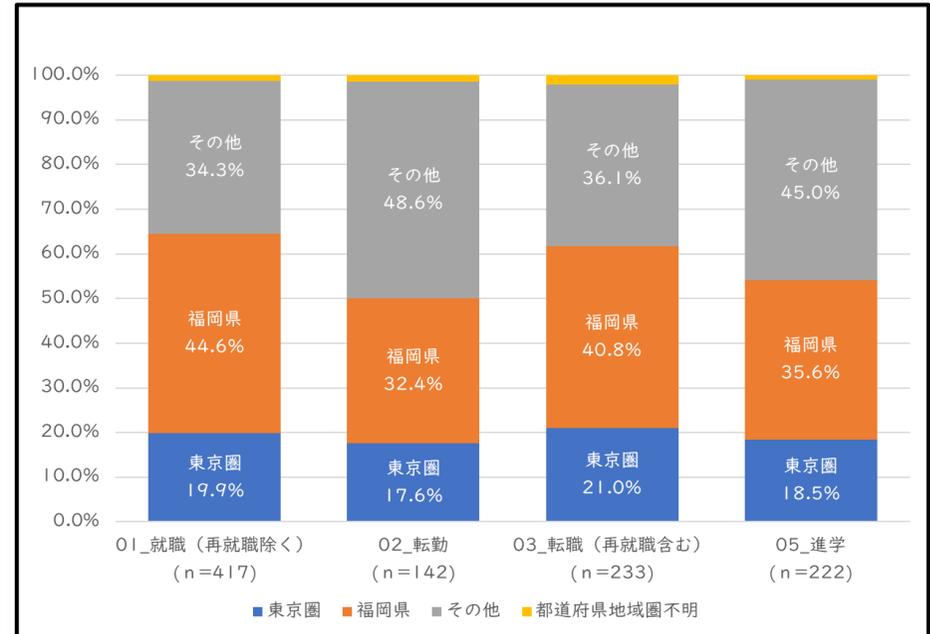
4-2. 移動理由（就職・転勤・転職・進学）、 転出先地域別県外転出者（男女別）

■ 転出

(男性)



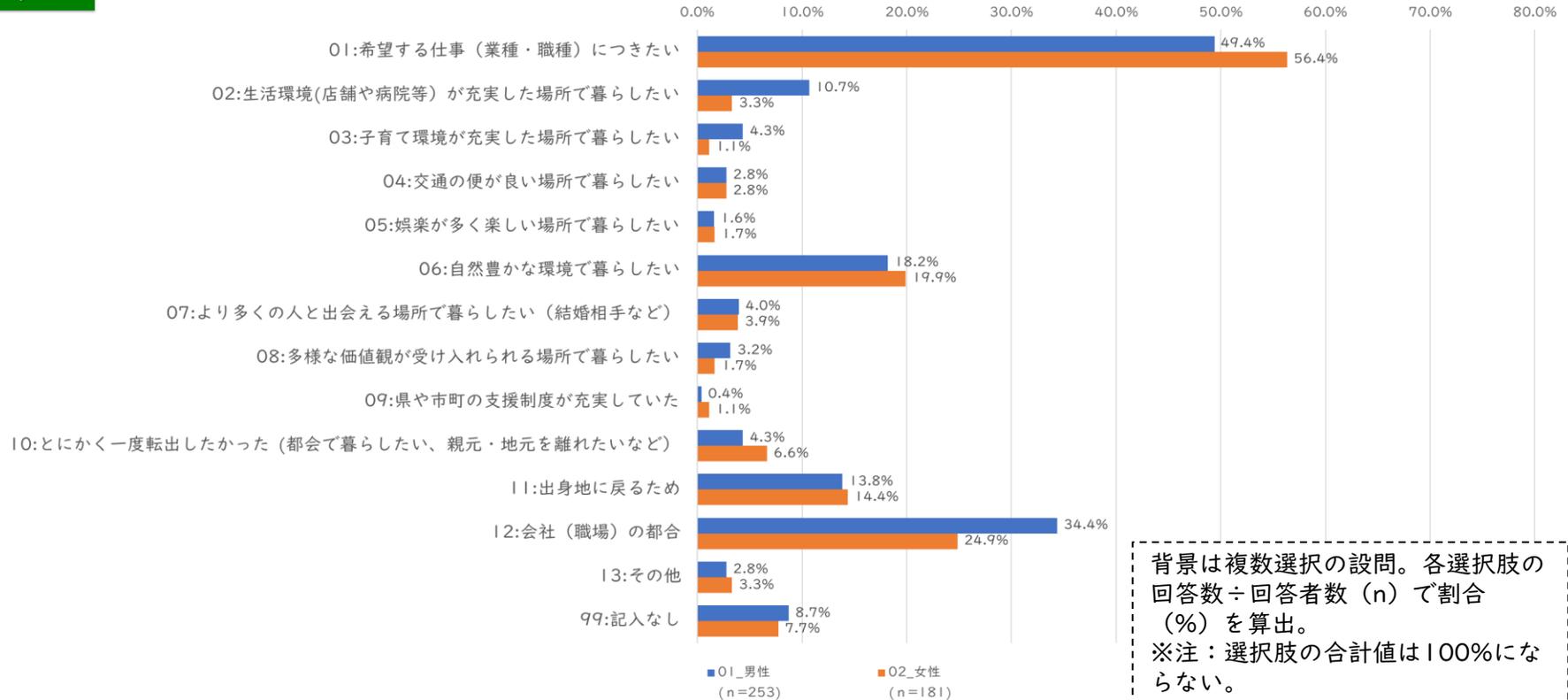
(女性)



- 県外への転出について転出先の地域を男女別にみると、就職、転勤、転職、進学4つの全ての移動理由区分で、女性の方が福岡県へ転出する割合が高かった。

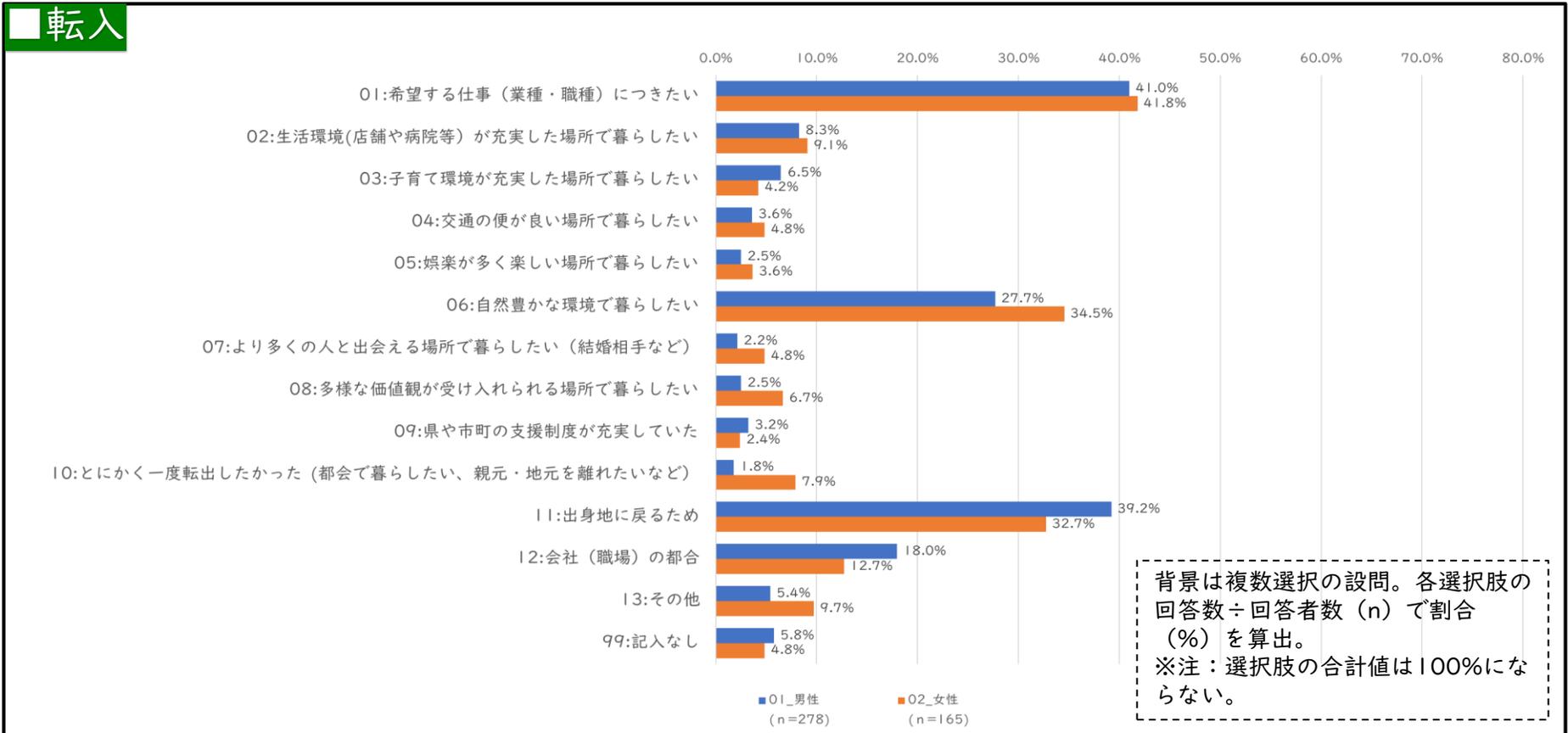
5-1. 就職の背景 ※複数選択 県外転入者（男女別）

■ 転入



- 「就職」を理由とした県外からの転入者の背景は、男女とも「希望する仕事（業種・職種）につきたい」が最も高く、次いで「会社（職場）の都合」、「自然豊かな環境で暮らしたい」の順であった。「会社（職場）の都合」、「生活環境（店舗や病院等）が充実した場所で暮らしたい」との回答は女性よりも男性で高く、一方で「希望する仕事（業種・職種）につきたい」は女性の方が高かった。

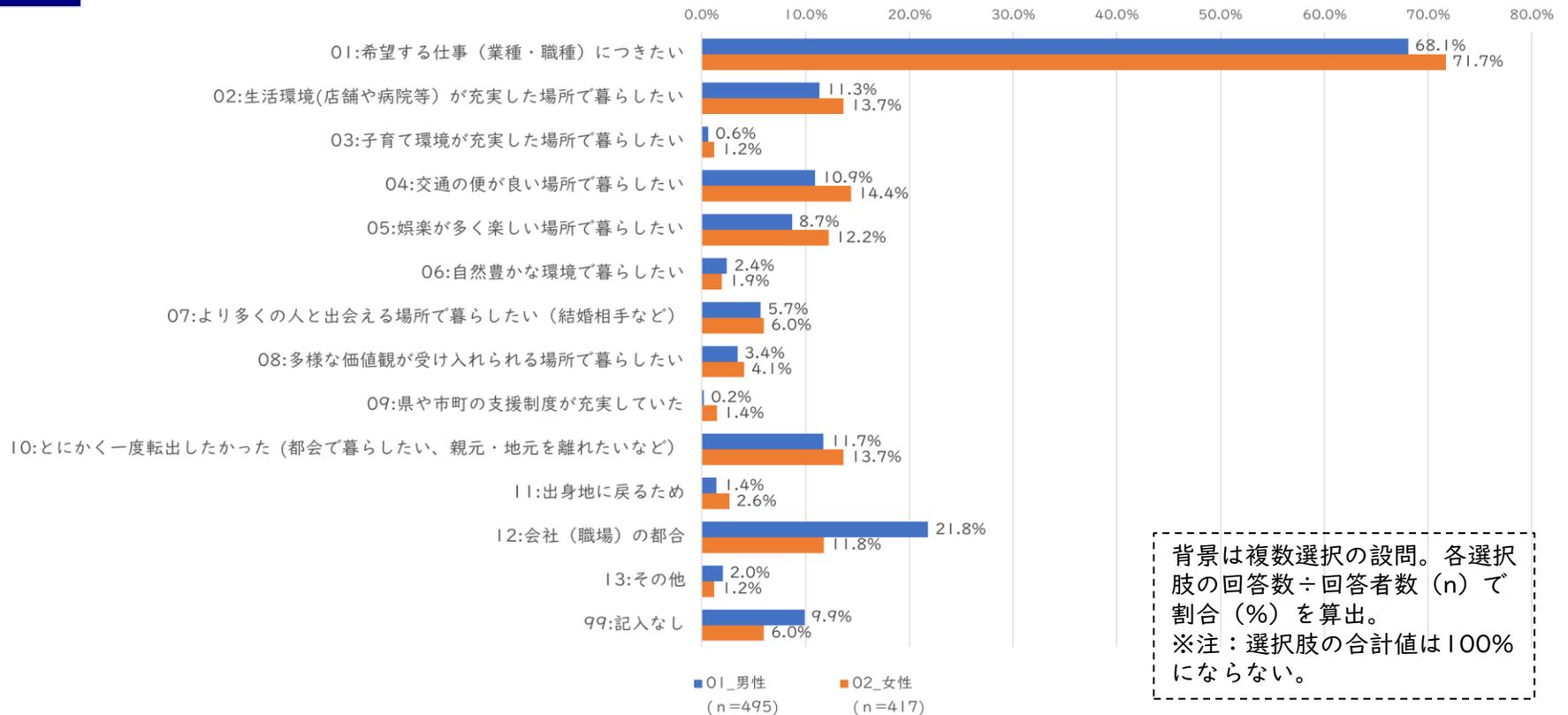
5-2. 転職の背景 ※複数選択 県外転入者（男女別）



- 「転職」を理由とした県外からの転入者の背景は「希望する仕事(業種・職種)につきたい」が男女とも最も高かった。「出身地に戻るため」、「会社(職場)の都合」は女性よりも男性で高く、一方で「自然豊かな環境で暮らしたい」、「とにかく一度転出したかった」は女性の方が高かった。

5-3. 就職の背景 ※複数選択 県外転出者（男女別）

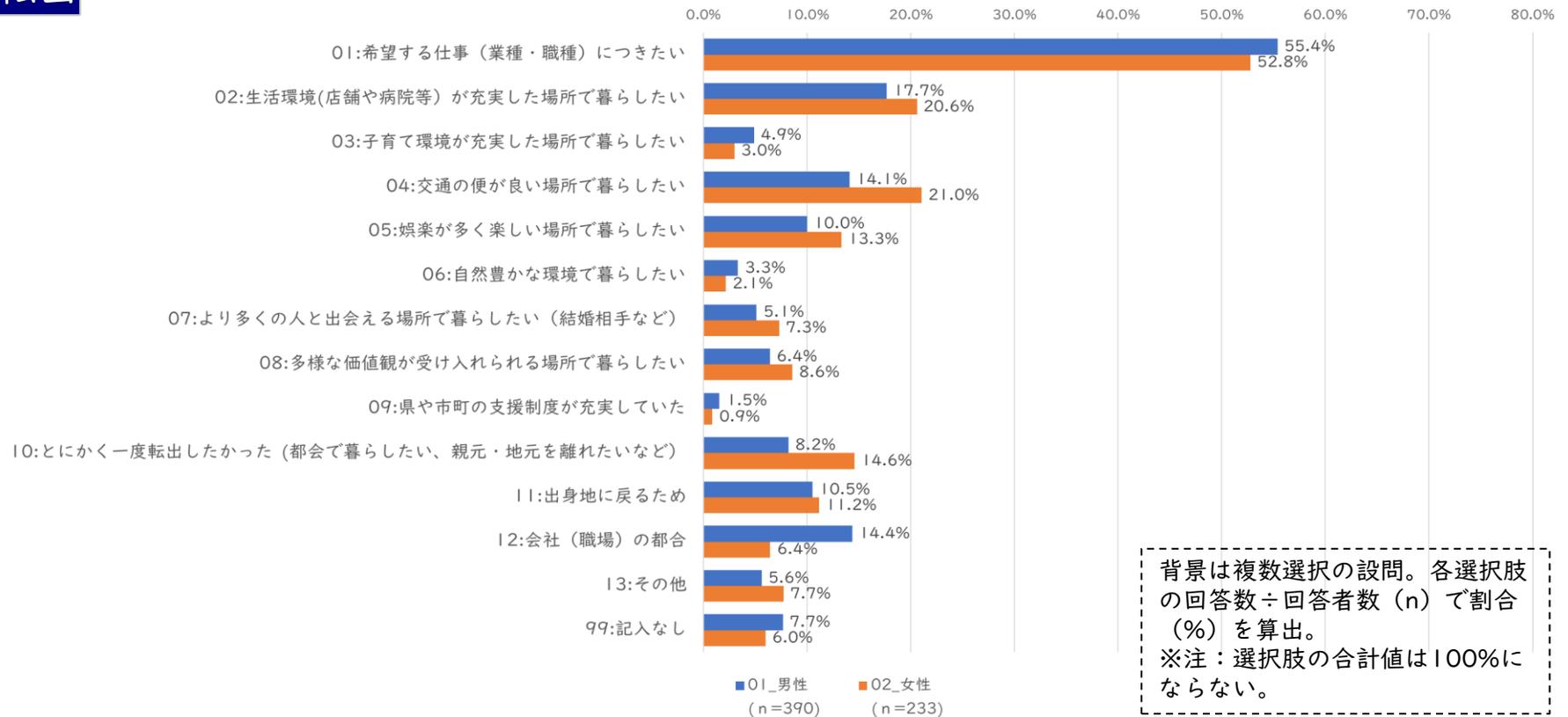
■ 転出



- 「就職」を理由とした県外への転出者の背景は「希望する仕事（業種・職種）につきたい」が男女とも最も高かった。「会社（職場）の都合」は女性よりも男性で高く、一方で「希望する仕事（業種・職種）につきたい」は女性の方が高かった。

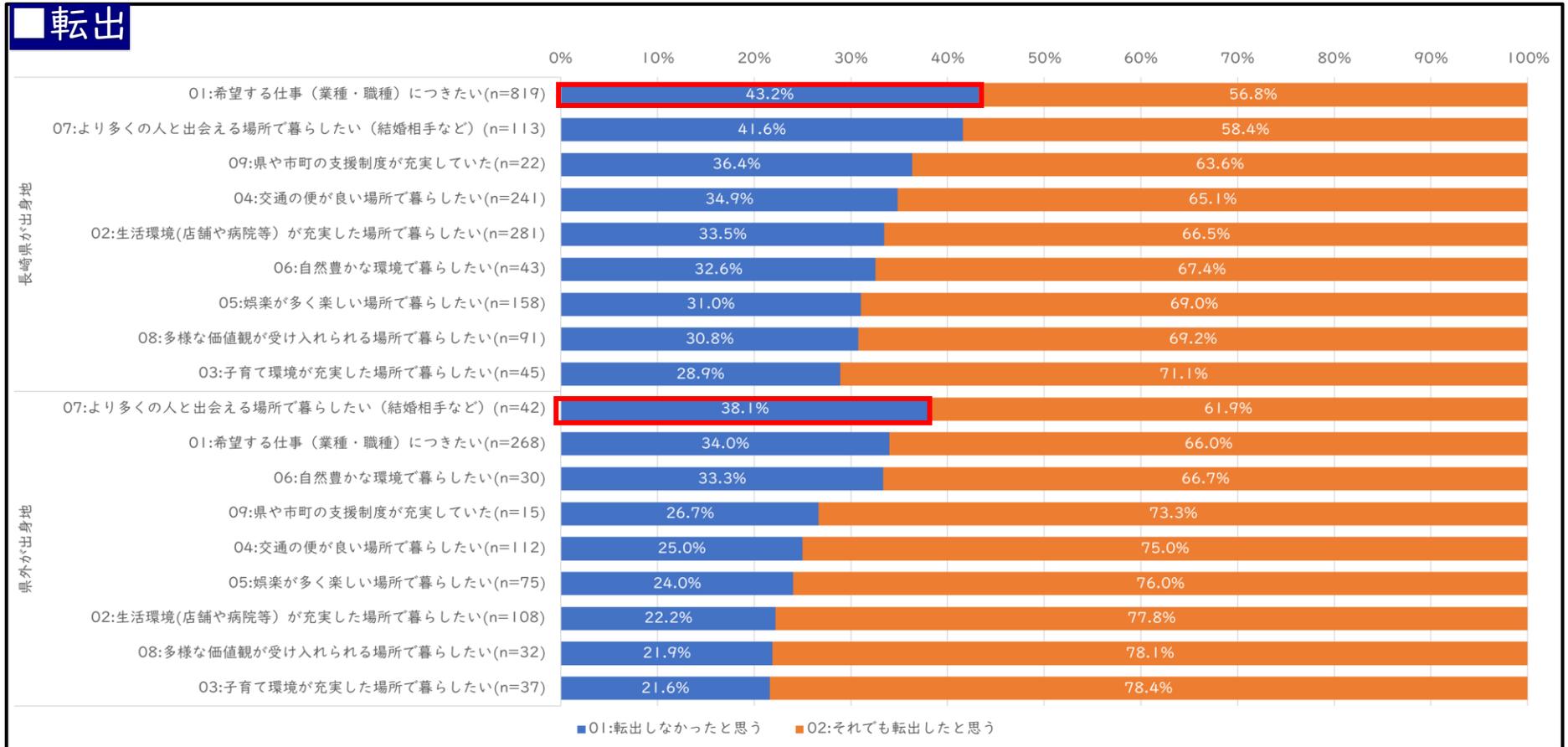
5-4. 転職の背景 ※複数選択 県外転出者（男女別）

■ 転出



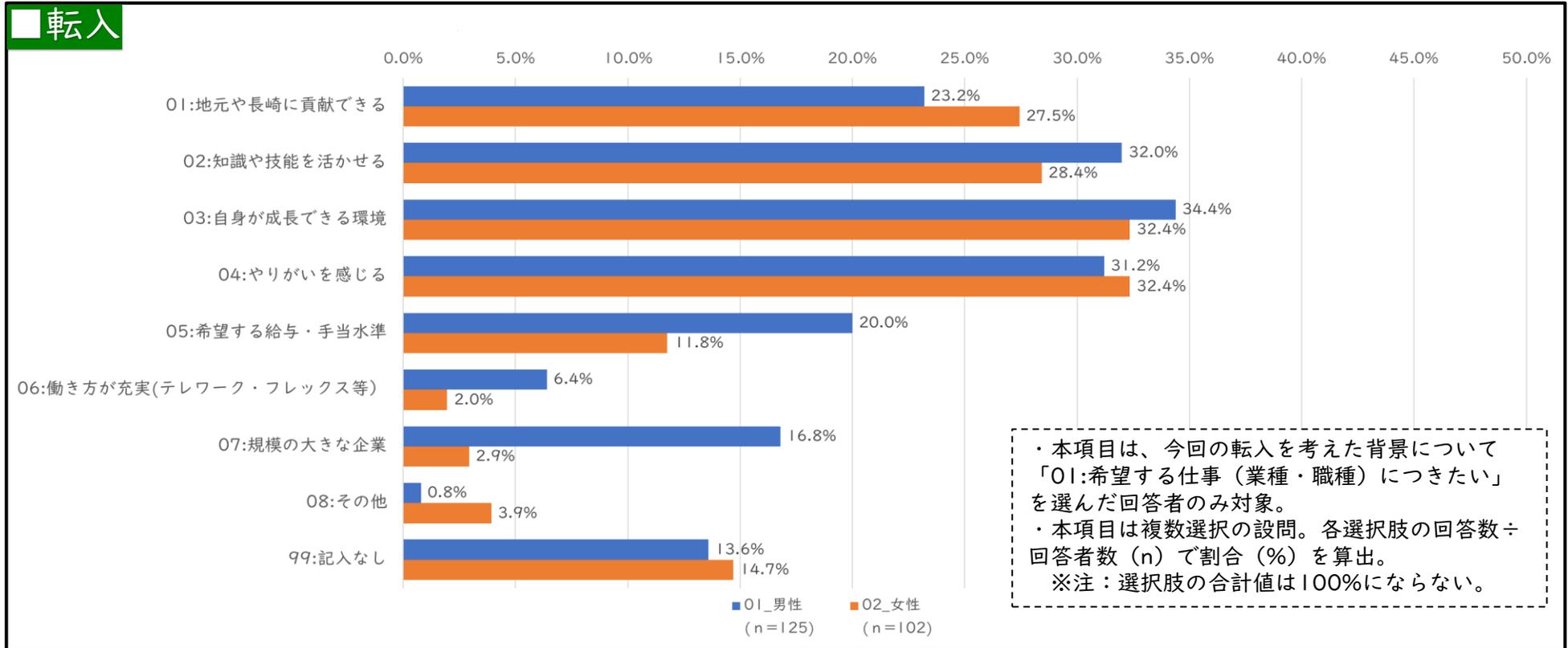
- 「転職」を理由とした県外への転出者の背景は「希望する仕事（業種・職種）につきたい」が男女とも最も高かった。「会社（職場）の都合」は女性よりも男性で高く、一方で「交通の便が良い場所で暮らした」、「とにかく一度転出したかった」は女性の方が高かった。

5-5. 県外転出者 長崎県内で同じ条件の仕事や生活環境があれば転出していたか（出身地別）



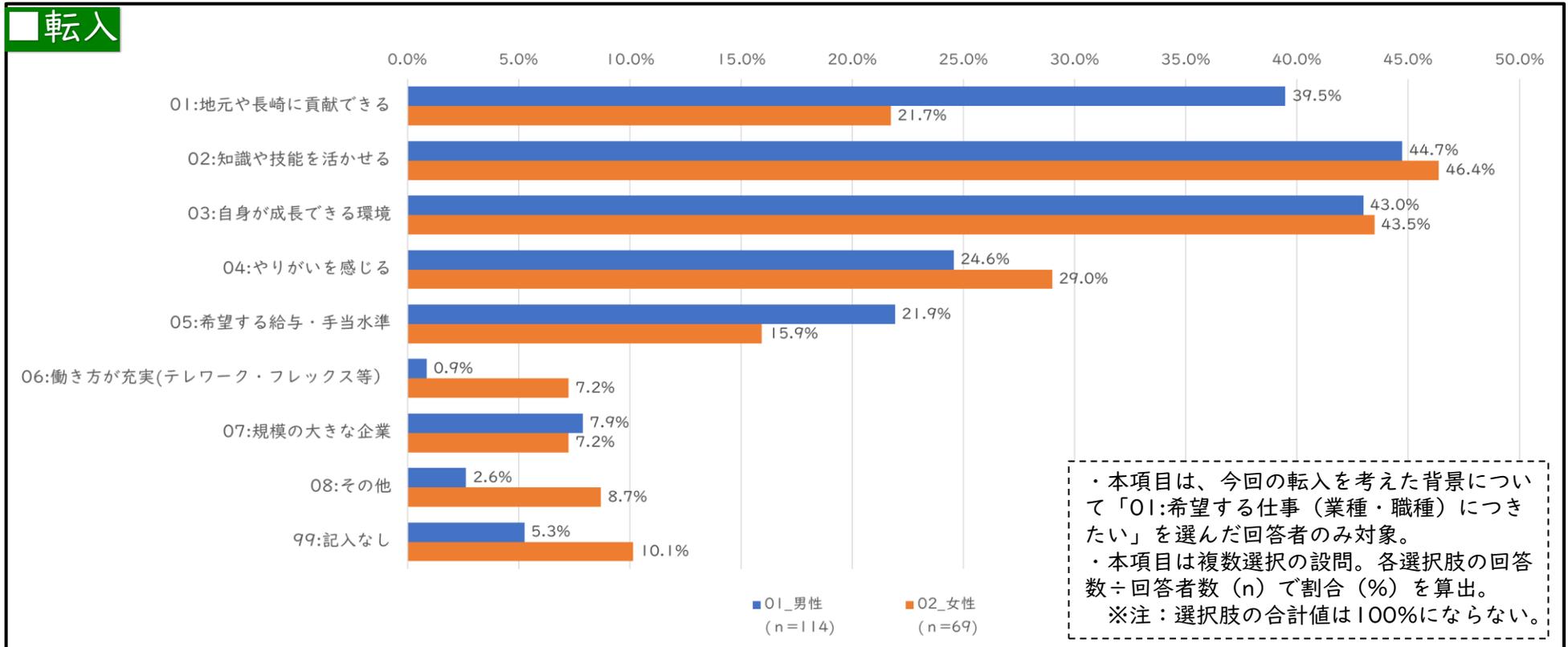
- 「長崎県内で同じ条件の仕事や生活環境があれば転出していたか」の質問について、「転出しなかったと思う」と回答した割合を「転出した背景別」に調べた。「長崎県が出身者」の場合は「希望する仕事（業種・職種）につきたい」を選んだときに「転出しなかったと思う」と回答した割合が最も高く、一方で「県外が出身者」の場合には、「より多くの人と出会える場所で暮らしたい（結婚相手など）」を選んだときに「転出しなかったと思う」と回答した割合が最も高かった。

6-1. 就職の決め手になったこと ※複数選択 県外転入者（男女別）



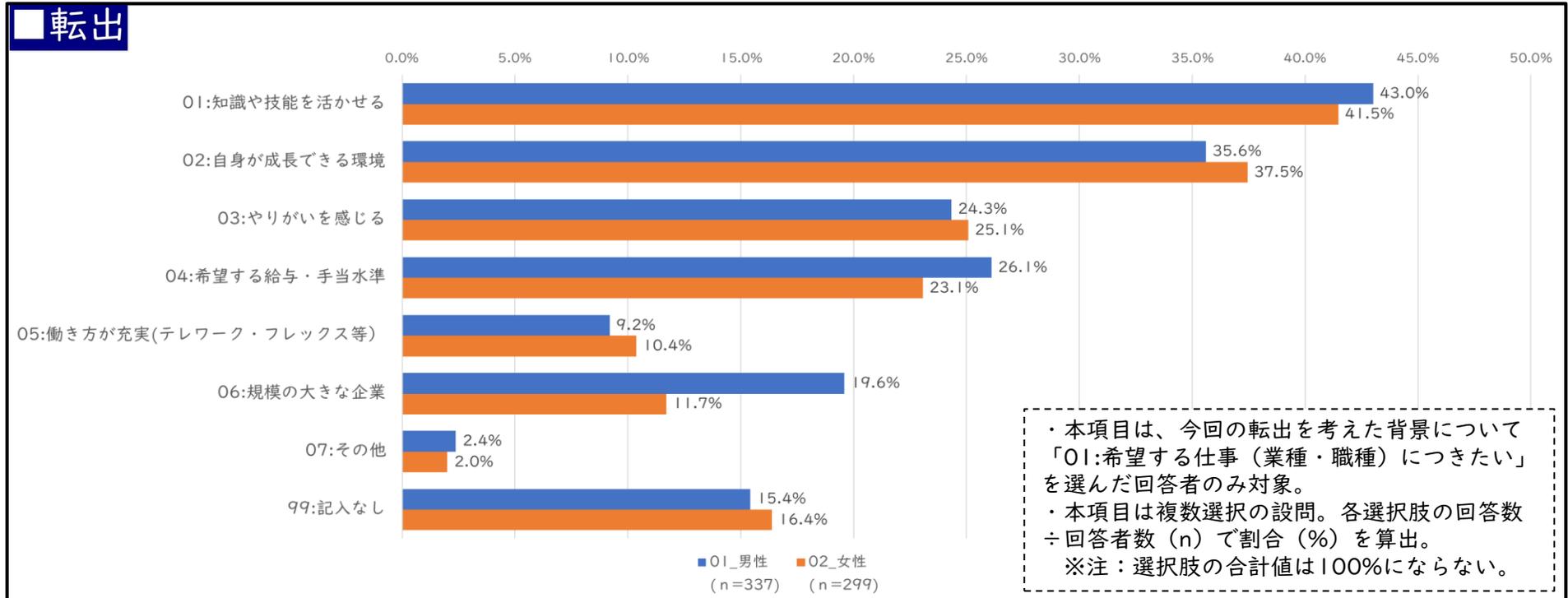
- 県外からの転入者の就職の「決め手になったこと」は男性では「自身が成長できる環境」、女性は「自身が成長できる環境」、「やりがいを感じる」が同率で最も高かった。
- 「規模の大きな企業」については、男女差が最も大きく、男性の方が6倍近く多かった。

6-2. 転職の決め手になったこと ※複数選択 県外転入者（男女別）



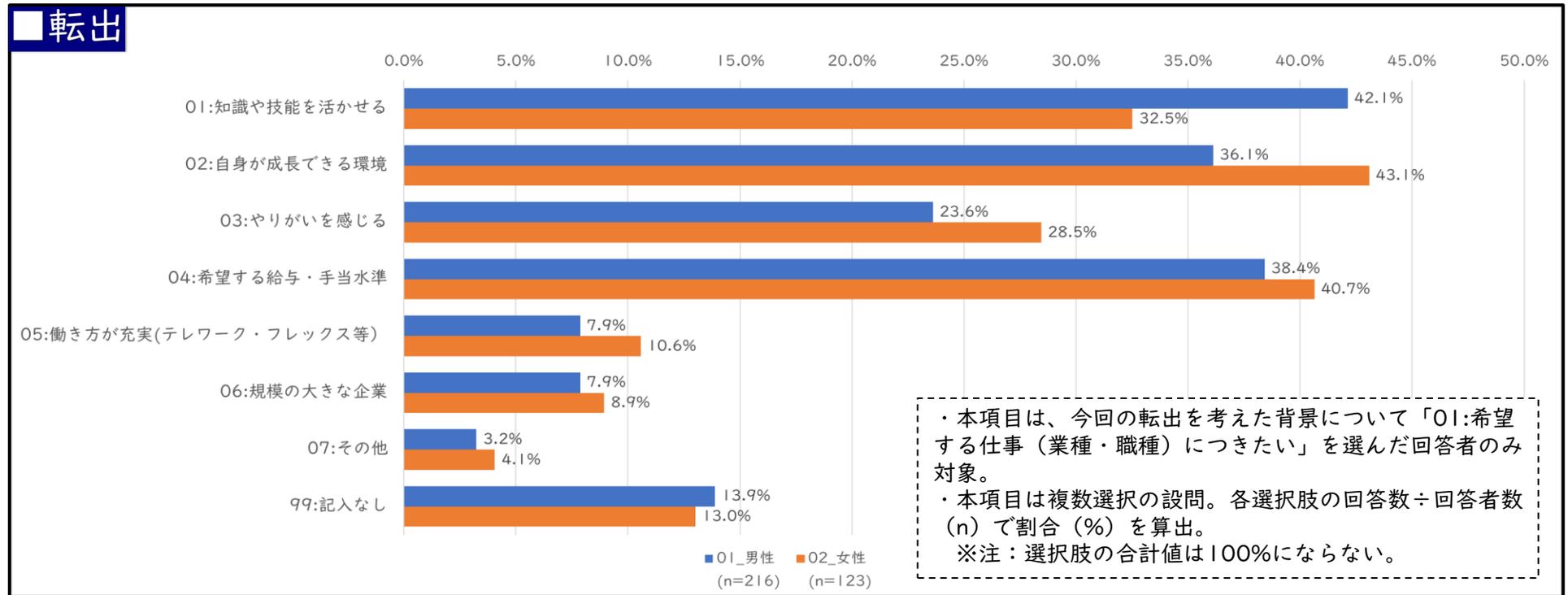
- 県外からの転職による転入の「決め手になったこと」は男女とも「知識や技能を活かせる」「自身が成長できる環境」の順が多かった。
- 「地元や長崎に貢献できる」については、男性は約4割、女性は約2割と男女差が大きい項目となった。また、就職と転職で比較すると、男性は転職の際に、女性は就職の際に「地元や長崎に貢献できる」と回答した割合が大きかった。

6-3. 就職の決め手になったこと ※複数選択 県外転出者（男女別）



- 県外への転出者の就職の「決め手になったこと」は男女とも「知識や技能を活かせる」「自身が成長できる環境」の順で多かった。
- 「規模の大きな企業」については、女性が約1割に対して男性が約2割と、男女差が大きかった。

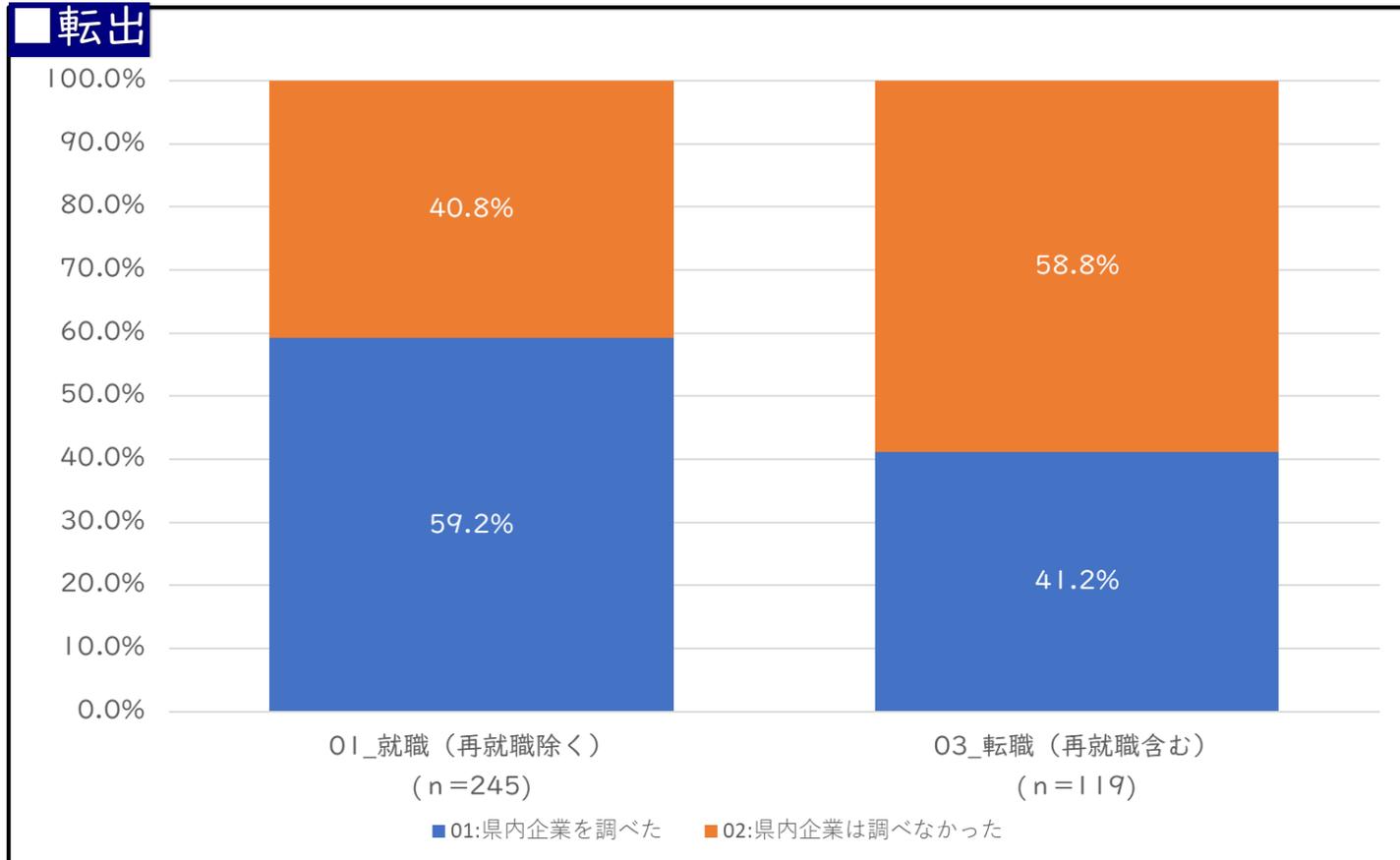
6-4. 転職の決め手になったこと ※複数選択 県外転出者（男女別）



- 県外への転出者の転職の「決め手になったこと」は、男性では「知識や技能を活かせる」が最も高く、一方、女性では「自身が成長できる環境」が最も高かった。
- 就職と比べて、転職においては「希望する給与・手当水準」の割合が高かった。

7-1. 県外転出者の「県内企業を調べたか」の有無 (就職・転職、男女計)

・本項目は、今回の転出を考えた背景について「01:希望する仕事（業種・職種）につきたい」を選んだ回答者のみ対象。



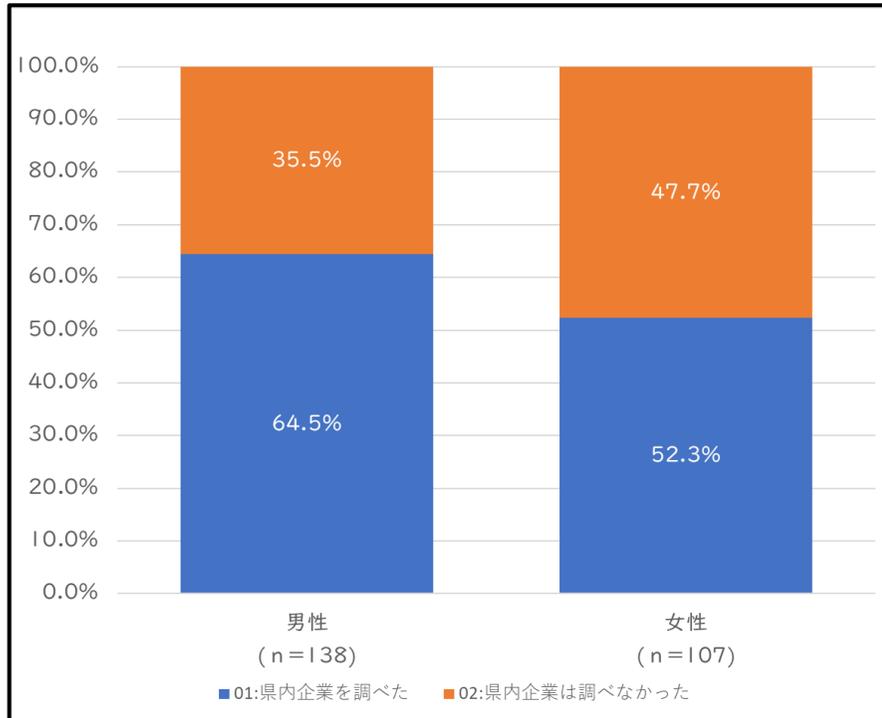
- 背景として「希望する仕事（業種・職種）につきたい」と回答した転出者に対して「県内企業を調べたか」と聞いたところ、就職では約6割が「県内企業を調べた」と回答していたのに対し、転職では約4割の回答であった。

7-2. 県外転出者の「県内企業を調べたか」の有無 (就職・転職、男女別)

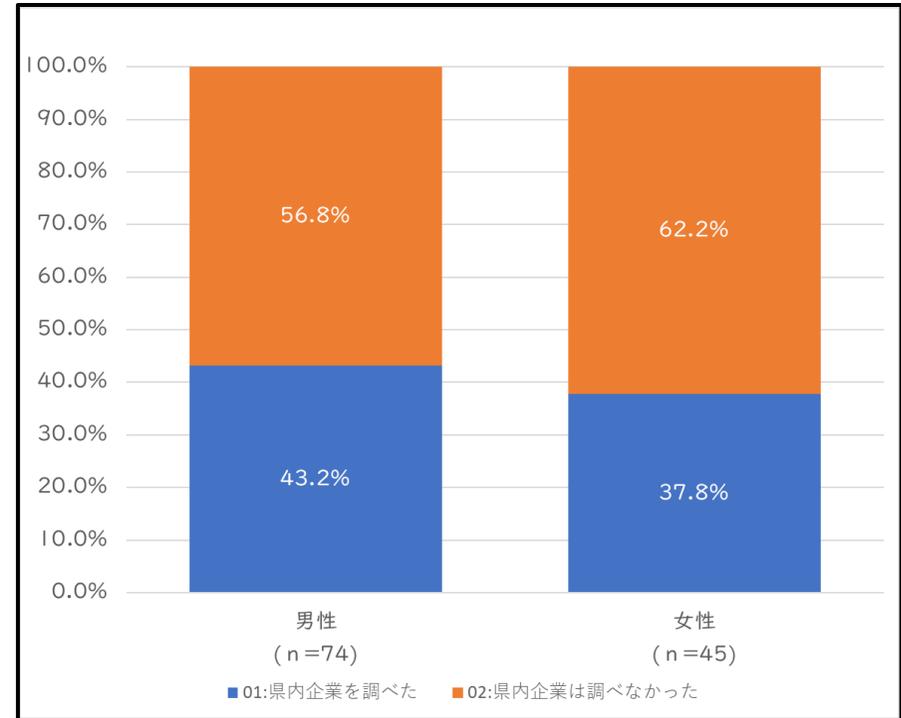
■ 転出

本項目は、今回の転出を考えた背景について「01:希望する仕事（業種・職種）につきたい」を選んだ回答者のみ対象。

(就職)

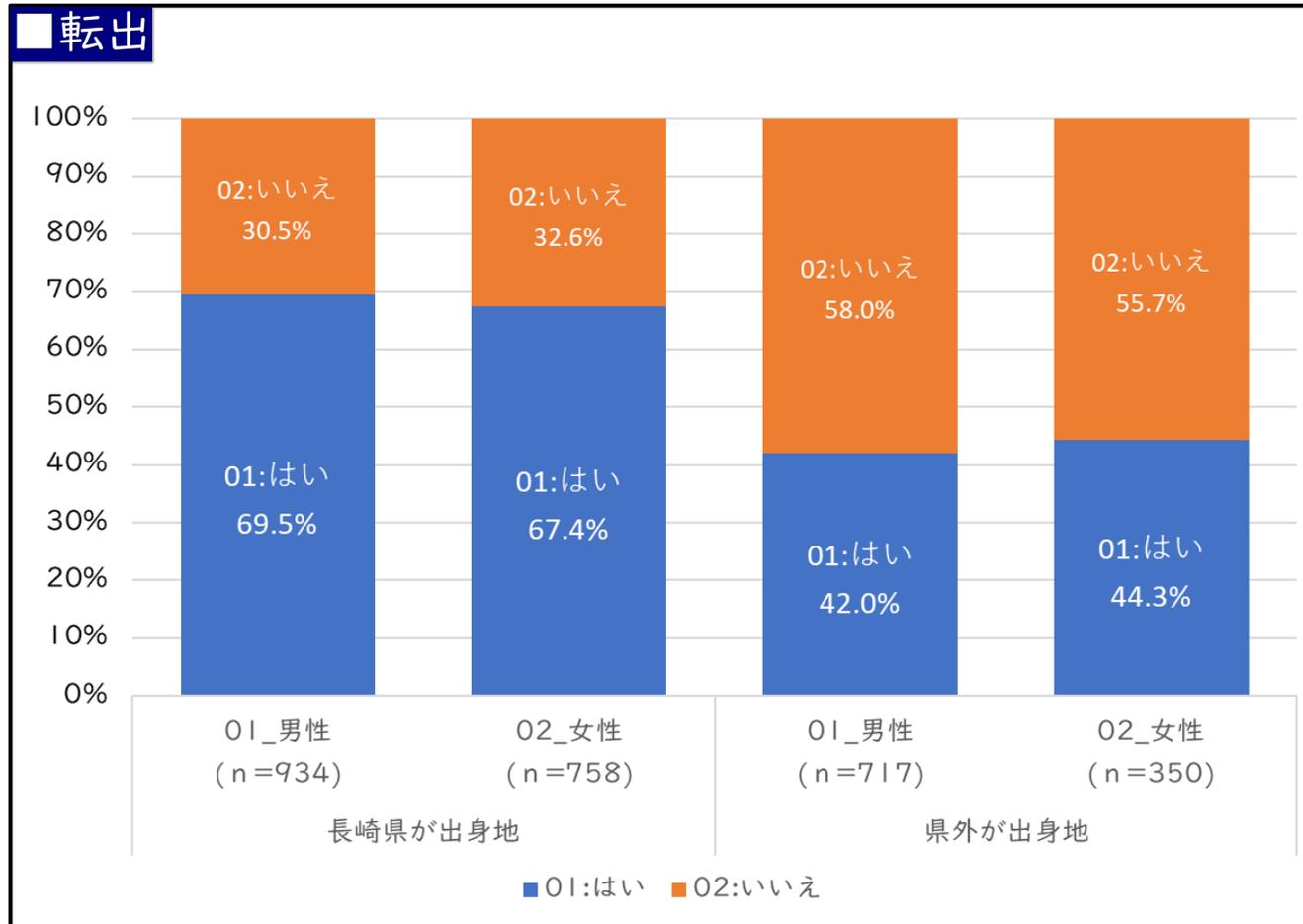


(転職)



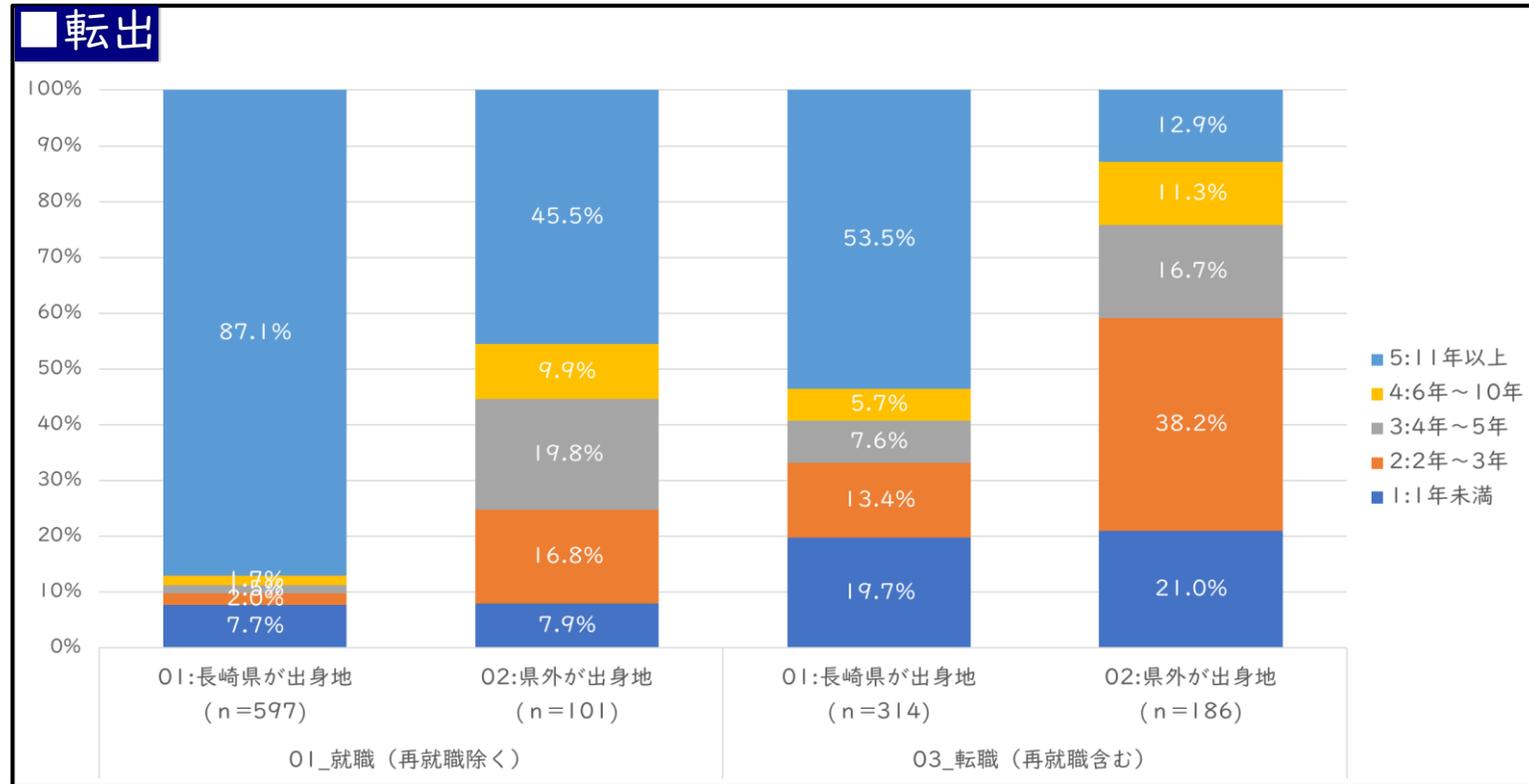
- 「県内企業を調べたか」の質問について男女別にみると、就職においては、男性では約6割、女性では約5割が「県内企業を調べた」と回答しており、男性の方が「県内企業を調べた」割合が高かった。また、転職においても同様に、男性では4割強、女性では4割弱が「県内企業を調べた」と回答しており、男性の方が「県内企業を調べた」割合が高かった。

8. 県外転出者の「将来長崎県に帰ってきたいか」 (就職・転職、出身地別、男女別)



- 県外への転出者に「将来長崎県に帰ってきたいか」と聞いたところ、「長崎県が出身地」では、男女とも約7割が帰ってきたいとの回答であった。一方で「県外が出身地」においては男女とも約4割が帰ってきたいとの回答であった。

9. 県外への転出者の長崎県内の居住年数 (就職・転職、出身地別)



- 長崎県外への転出者に対して「長崎県内の居住年数」を質問した。就職を見ると、居住年数が3年未満（「1年未満」及び「2年～3年」を合算）の割合は「長崎県が出身地」の場合約1割であるのに対し、「県外が出身地」の場合約2割を占める。
- 転職を見ると、居住年数が3年未満の割合は、「長崎県が出身地」の場合約3割であるのに対し、「県外が出身地」の場合約6割を占めている。